

【平成 23 年・マクロ経済学 I・課題 2】

☆ 締切：平成 23 年 6 月 21 日 講義開始時

【問 1】 次の設問に 4～5 行程度で答えなさい。

- (ア) GNP と GDP の違いについて述べなさい。
- (イ) 減価償却とはどのようなものか説明しなさい。
- (ウ) NNP と NI について説明しなさい。
- (エ) 「付加価値」とは何か、GDP の三面等価とはどう関連しているかに触れながら説明しなさい。

【問 2】 投資と資本について次の問に答えなさい。

- (ア) 投資の二重効果とはどのようなものか説明しなさい。
- (イ) 投資と資本ストックの関係を（言葉で）説明しなさい。
- (ウ) 投資の誘因について説明し、独立投資とはどのような投資か説明しなさい。
- (エ) ある年の期首の資本ストックが 600 億円であった。資本減耗率が 0.5% であり ($\delta = 0.005$)、今期の投資が 100 億円であった ($I=100$) 場合、次の期の期首における資本ストック量はいくらになるか？

【問 3】 ある小さい経済において次の 3 品目が C P I を計算する際の財のバスケットに含まれており、各年の単位価格と消費量が次のように与えられている。この情報についてのちの設問に答えなさい。

年	パン		バター		ミルク	
	単位価格 (1 斤)	消費量	単位価格 (300 グラム 1 箱)	消費量	単位価格 (1 リットル)	消費量
2005	98 円	600	450 円	250	145 円	1900
2006	105 円	560	380 円	360	143 円	2000
2007	100 円	590	420 円	230	138 円	2300

- (ア) 価格指標の 3 要素を述べ、「財・サービスのバスケット」とはどのようなものか？説明しなさい。
- (イ) 2005 年を基準年としたときに、2006 年、2007 年の消費者物価指数を計算しなさい。
- (ウ) 2005 年を基準年としたときに、2006 年、2007 年の GDP デフレーターを計算しなさい。
- (エ) (イ) の計算結果をもとに、2005 年から 2006 年の間の物価上昇率を求めなさい。(注：下降している場合にはマイナスの値となります。)

【問 4】 次のように民間部門からのみが存在する閉鎖経済の消費関数が与えられている。これを用いて後の問いに答えなさい。但し C は消費支出、Y は国民所得を表す。また、関連するグラフも解答にあわせて描くこと。

$$C = 80 + 0.5Y$$

- (ア) この消費関数より、基礎消費と限界消費性向はいくらになるか？
- (イ) この経済において、投資が独立投資のみでその値が 30 である場合、この経済の総支出(=総需要)関数を示しなさい。
- (ウ) この経済における均衡国民所得はいくらになるか？
- (エ) 仮に、この経済の供給量(=総生産)が 180 である場合、この経済においてどのくらいの超過需要、もしくは超過供給があるか求めなさい。(Note: 閉鎖経済で政府部門が存在しない場合は、総生産は国民所得に等しい。)